

鎌倉市公共施設再編計画 市民ワークショップ手引き

【配布資料】

1 市民ワークショップの目的

市民の皆さんと、鎌倉市の公共施設の現状と課題を共有し、具体的な公共施設を想定して、どのような再編が考えられるか、シミュレーションゲームを通じて、公共施設再編について理解を深めていただくとともに、計画策定の参考とすることを目的に実施します。

【ポイント】

- ① 公共施設再編は、できるだけ市民サービスを低下させずに、財政負担を減らす取り組みです
- ② 市民の皆さんから見た公共施設再編の考え方や理由をお聞きし、今後の計画策定の参考にします

2 開催概要

第 1 回	【情報提供】 ①鎌倉市の公共施設の現状と取組 ②他自治体における取組	+	【ワークショップ①】 ・公共サービスのあり方を考える
第 2 回	【ワークショップ②】 ・ワークショップ①のおさらいと、ワークショップ②のルールの説明 ・各班で公共施設再編シミュレーションゲームの実施、結果発表		

(1) 開催日時

第 1 回 平成 26 年 2 月 1 日（土）午前 9 時 30 分から 12 時 00 分まで
第 2 回 平成 26 年 2 月 8 日（土）午前 9 時 30 分から 12 時 00 分まで

(2) 開催場所

鎌倉市役所 本庁舎 2 階 全員協議会室（両日とも）

3 参加人数

40 名程度（6 グループ×7 名程度）

4 ワークショップの内容

第1回

(1) 情報提供の概要

〔情報提供①の概要〕

「マンガでわかる公共施設再編の取組」を用いて、鎌倉市の公共施設再編の取組みを説明します。

〔情報提供②の概要〕

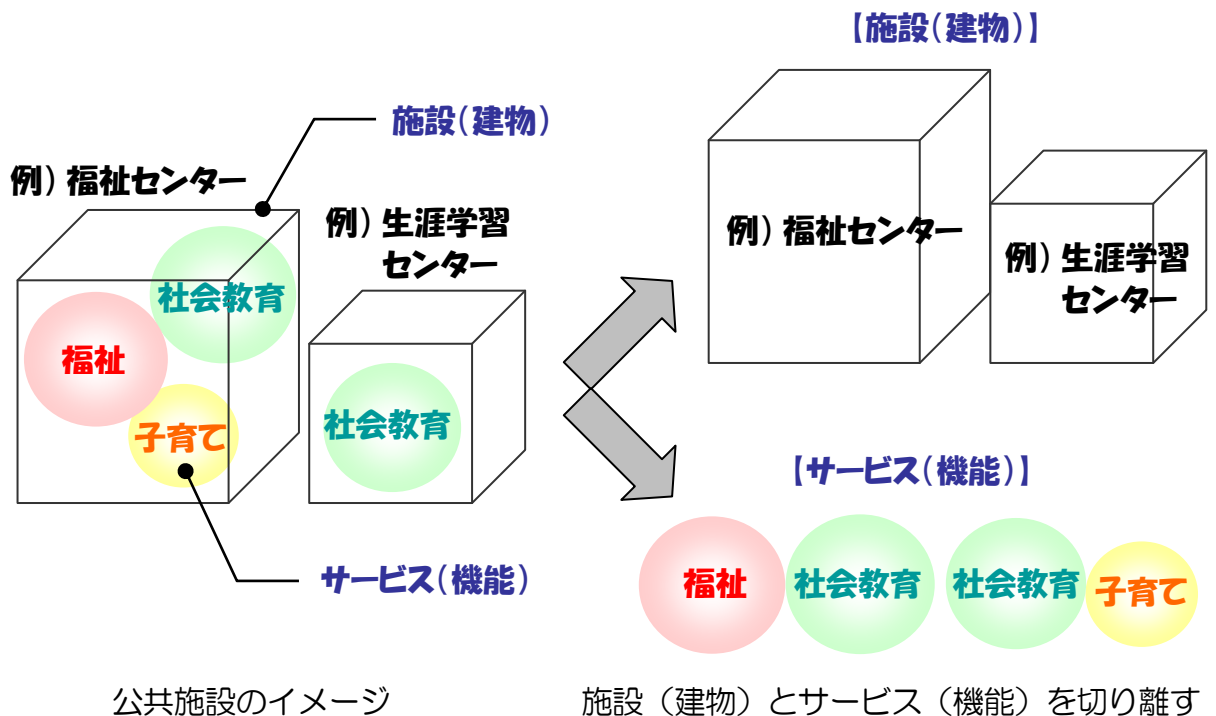
南学 氏から、他自治体における公共施設再編の取組み事例などをご紹介します。

(2) ワークショップ

【概要】

鎌倉市の公共施設について、施設（建物）とサービス（機能）を切り離して、①場所、②費用負担、③市民ニーズとのズレの3つの視点からの評価を、各班に分かれて意見交換します。

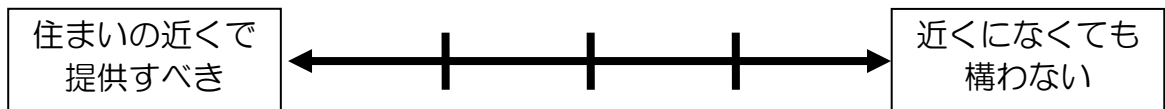
※第2回ワークショップで実施する再編シミュレーションゲームを進めるための検討の視点になります。



a)評価の視点と評価軸

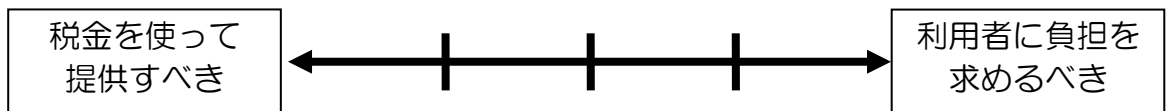
- 視点1：できるだけ「住まい」の近くで提供すべき施設やサービスはどれですか？
逆に、必ずしも近くになくても構わない施設やサービスはどれですか？

<評価軸>



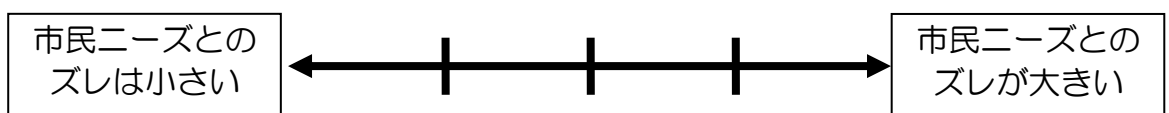
- 視点2：できるだけ利用者に負担を求めず、市の税金を使って提供すべき施設やサービスはどれですか？
逆に、できるだけ利用者に負担を求めるべき施設やサービスはどれですか？

<評価軸>



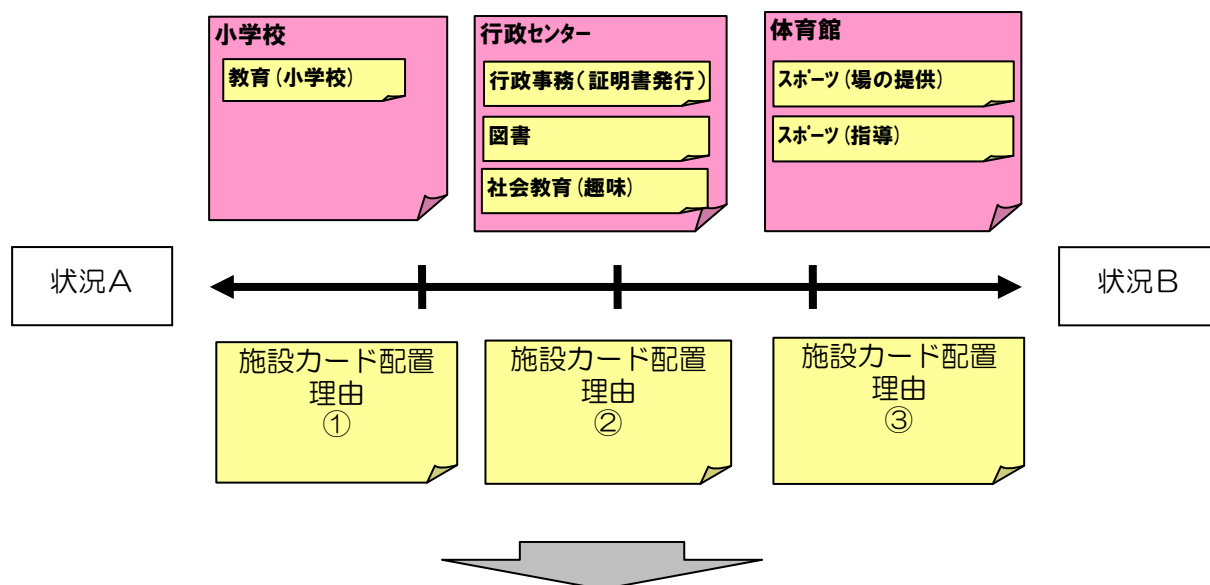
- 視点3：現在、市が提供している行政サービスの内容と、市民のニーズとズレている施設やサービスはどれですか？

<評価軸>

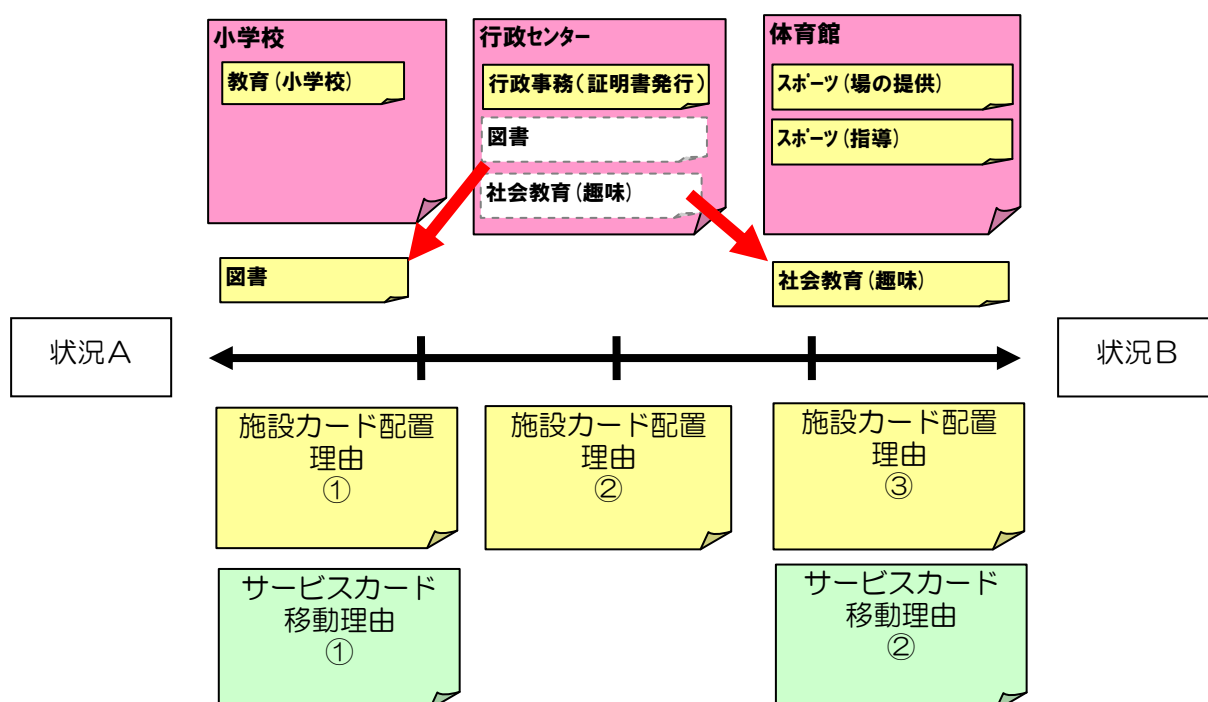


b)施設カードを用いた評価のイメージ

STEP1 公共施設の類型（施設カード）が、評価軸上のどの位置にあるかを意見交換してください。
また、なぜその位置に並べたのか、考え方や理由を付箋紙に記入してください。



STEP2 サービス（機能）カードのみ移動したい場合は、評価軸上の別の位置に動かしてください。
また、なぜその位置に移動したのか、理由を付箋紙に記入してください。



（参考）鎌倉市の公共施設と提供する公共サービス一覧

今回、検討する鎌倉市の公共施設の「施設とサービスの組合せ」は、次の11種類とします。

施設	サービス
1. 行政センター	行政事務（各種証明書発行）
	行政事務（地域活動支援）
	会議室等（地域活動の場）
	図書サービス（資料収集及び提供）
	社会教育（教養・趣味等の学習機会の提供）
2. 小中学校	学校教育
	地域開放（サークル活動等の場の提供）
3. 保育園	子育て（保育）
4. 子ども会館・子どもの家	子育て（放課後の子どもの居場所）
	子育て（0歳児～中学生までの遊び場）
5. 青少年会館	子育て（青少年の交流と活動の場）
	社会教育（サークル活動等の場の提供）
6. 老人福祉センター	福祉（高齢者の介護、生活支援等）
	福祉（高齢者の健康増進）
	福祉（高齢者の社会活動支援）
7. 障害者福祉施設	福祉（障害者の生活支援）
8. 勤労福祉会館	子育て（子育てサポート）
	診療（休日急患歯科診療）
	社会教育（講演、社会教育関連イベント）
9. 文化ホール	文化（音楽・演劇等の鑑賞）
	文化（展示・イベント等の場の提供）
10. 体育館	スポーツ（場の提供）
	スポーツ（指導）
11. 博物館	社会教育（文化財等の保存、修復）
	社会教育（文化財等の展示、公開）

③ タイムテーブル

時間	内容
9:30～ 9:35 (5分)	開催挨拶
9:35～ 9:55 (20分)	公共施設再編の取組状況の報告
9:55～10:25 (30分)	先進事例の紹介「発想転換の公共施設再編」
10:25～11:40 (75分)	ワークショップ①
10:25～10:35 (10分)	自己紹介（チームリーダーや発表者の選任など）
10:35～10:50 (15分)	鎌倉市の公共施設におけるサービスの紹介と 公共施設再編に向けた評価の説明
10:50～11:10 (20分)	評価①：公共サービスの提供場所
11:10～11:25 (15分)	評価②：公共サービスの費用負担
11:25～11:40 (15分)	評価③：公共サービスの市民ニーズとのズレ
11:40～11:55 (15分)	次回ワークショップの説明
11:55～12:00 (5分)	閉会

第2回

(1) 公共施設再編シミュレーションゲーム

各班のプレイヤーは、今から 10～20 年後の大船駅周辺に住んでいる地域住民になったつもりで意見交換を行いながら、適切な公共サービスのあり方を検討し、市内の老朽化した公共施設を再編することで、トータルコストを削減していきます。

なお、トータルコストはポイントに置き換え、10,000 ポイントの削減を目標（全体 20,000 ポイント）に、意見交換を行いながらゲームを進めていきます。

【ご留意いただきたいポイント】

- ・ 行政サービスを減らすことが目的のゲームではありません。
- ・ 地域の住民になったつもりでゲームに参加してください。
- ・ 皆さんに考えていただく再編のプロセスを知りたいので、考え方や理由を付箋に記述して残しておいてください。

(2) ゲームの仮想条件

① 役割について

- プレーヤーの皆さんは、A～G の居住地に住んでいる市民（A:学生、B:独身会社員、C・E:子育て夫婦、D:夫婦、F:老夫婦、G:単身高齢者）です。

※最後まで、役割を認識していただきながらゲームを進めてください。

② 設定時期について

- 時期は、今から 10～20 年後です。

③ 対象地域について

- 場所は図 1 の地図の範囲です。（大船駅から半径 1 km の範囲）
- その範囲にある代表的な市民利用施設の再編を考えます。

③ 地域住民について（10～20 年後を想定して）

- 人口は減少しませんが、少子高齢化が進んでいます。
- 児童・生徒の減少が進んでいることから、小中学校には、各校 3 教室分の余裕スペースが生じています。

（※小中学校は、この時点では統廃合できません）。

- 65 歳以上の高齢者は 3 人に 1 人の割合になっています。

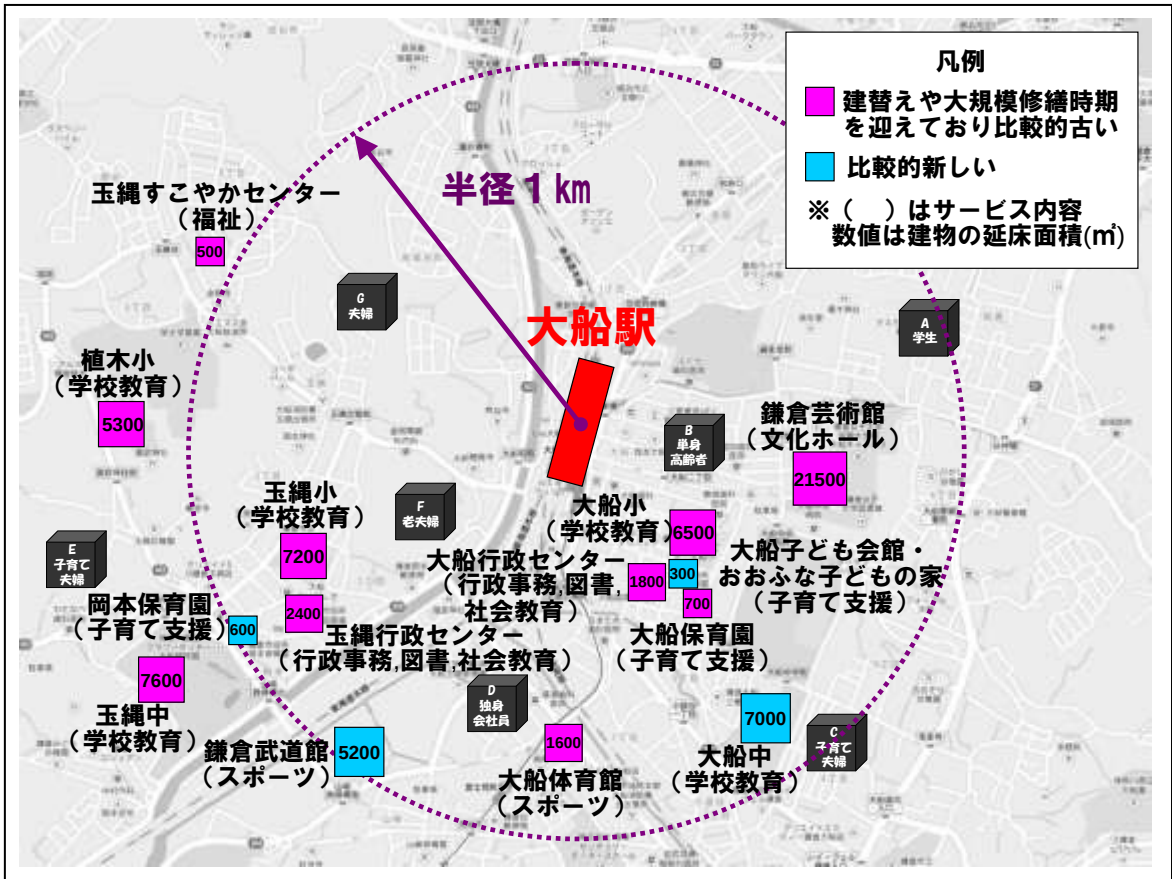


図1 対象地域のイメージ

実際にワークショップで使用する地図と施設カード・サービスカードの配置は、20ページの地図をご覧ください。

(3)やり方(施設カードの操作方法)

①施設カードとサービスカードについて

- 公共施設は、施設カードとサービスカードのセットで成立しています。
- 施設カードは建物の大きさと建物の古さで 4 種類を設定しています。
- 施設カードとサービスカードには廃止によるコスト削減ポイントが記されています。

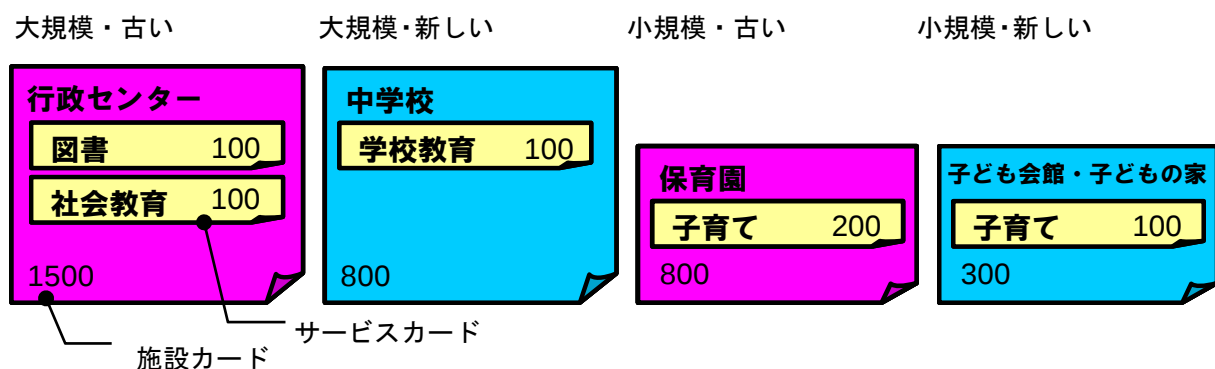


図2 施設カードとサービスカードのイメージ

②基本的なカードの動かし方について

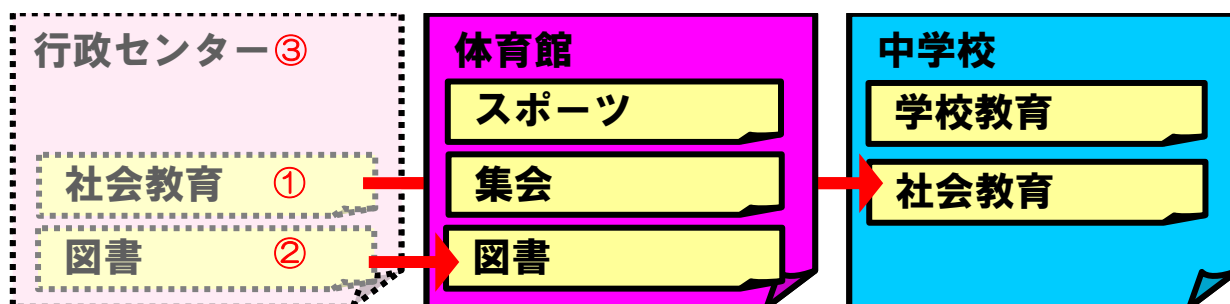
- サービスカードは、廃止（取り除くこと）や移動（他の施設カードへ移すこと）ができます。
- サービスカードは、大規模施設カードには3つ（※小中学校は2つ）まで置くことができますが、小規模施設カードには1つしか置くことができません。
- サービスカードの移動は、他の施設カード上に空きがある場合のみ、そこへ移すことができます。
- 施設カードの上に、サービスカードが無くなったら建物を廃止することができます（施設カードを地図上から取る）。
- 施設カードを、地図上の他の場所へ移動することはできません。

【廃止と移動のルール】

	廃止（取り除くこと）	移動（他へ移すこと）
施設カード	○できる ※サービスカードが残っていると廃止できません	×できない
サービスカード	○できる	○できる ※他の施設カードに空きがある場合

【施設カードにおけるサービスカードの数】

施設カードの種類		サービスカードの数（最大）
大規模	小学校・中学校	2
	その他	3
小規模		1



- ① 行政センターの社会教育サービスカードを中学校に移動
- ② 行政センターの図書サービスカードを体育館に移動
- ③ 行政センターにサービスカードがなくなったので、施設廃止ができる

図3 基本的なカードの動かし方のイメージ

【ご留意いただきたいポイント】

- ・サービスを減らすことが目的のゲームではありません（再掲）。
- ・小中学校には余裕教室が3室あり、サービスカードを2つまで置くことができますが、小中学校同士の統廃合はできません。
- ・赤い施設カードの施設（古い建物）は、面積を増やすことはできませんが、改修工事にあわせて、施設をリニューアルすることになります（必ずしも現状の間取りや設備でなくてよい）
- ・皆さんに考えていただく再編のプロセスが知りたいので、考え方や理由を付箋に記述して残しておいてください（再掲）。

（4）ボーナスステージ

コスト削減だけでは10,000ポイントを達成するのは難しく、また、サービスを減らし過ぎてしまった場合、不足するサービスが出てくることが予想されるため、一定時間が経過したら、次の3つのボーナスステージを用意しています。

A.資産売却ステージ（不動産屋の登場）

- 施設（カード）を廃止した土地は、一定の条件を満たす場合に不動産屋へ売却できます（売却ポイントカード（緑色）を獲得できます）。
- ※ただし、売却できる土地とできない土地があります。

B.利用料改定ステージ

- サービス（カード）については、利用料の改定（有料化）で収入を増やすことができます（料金収入ポイントカード（オレンジ）を獲得できます）。
- ※ただし、市の負担は減りますが、利用者の負担は増えることになります。
- ※利用料金の改定だけでなく、民間事業者の参入を促して、市および利用者の負担を減らす取り組みもあります。

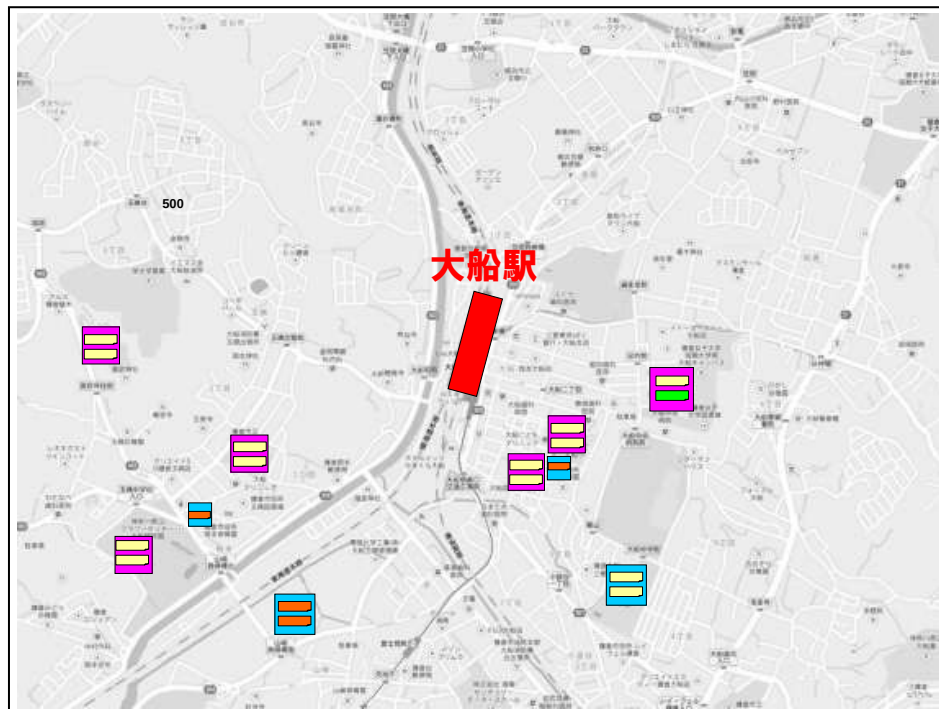
C.サービス向上ステージ（市長の登場）

- サービス（カード）を過剰に廃止してしまった場合、各班一度だけ、市長に増やしたいサービスをお願いすることができます（サービスカード（緑色）を入手）。
- ただし、入手したサービスカードは、空きがある施設カードにしか配置することができません。
- また、サービス（カード）が増えると運営費用が増えるため、その分、100ポイントを失うことになります（－100ポイント）。

(5)発表資料の作成

- 発表資料には、施設配置図とポイント表（下図参照）を用いて発表します。
- 移動又は廃止したカードの取扱いについて、そのような再編を行った理由を書いてください。
- 全体を通しての再編の考え方を整理し、提案のコンセプトを端的に示すフレーズを考えてください。

※発表資料をまとめる時間は少ないので、カードを動かすたびに、その理由や考え方を付箋に書いていくことが重要になります。



班 コンセプト『○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○』

(端的に示すフレーズ)

再編の考え方

	コスト削減				売却	料金収入 (利用者負担)		サービス 向上内容
	施設		サービス			カード	理由	
	カード	理由	カード	理由				
カード	   		 		  	  		 サービス
ポイント	6500		300		2500	800		-100
合計	10000							

図4 発表資料のイメージ

(6) 評価の基準(ゲームクリア条件と優秀案のポイント)

- 目標の 10,000 ポイント削減を達成することがゲームクリアの条件です。
- 優秀案の評価は、各班の発表後、皆さんひとりひとりの投票により決定します（最適と思われる配置案を個人投票で選んでもらいます）
- 再編された施設やサービスの配置、利用者負担ポイントの高さ、サービス向上内容などを評価基準として考慮してください。
- 投票方法は、付箋紙（投票用紙）に投票した理由を一つ書き、各自優秀と思う案に付箋紙を貼っていきます。

〔ご留意頂きたいポイント〕

- ・投票においては、いかに市民サービスの低下を招かない工夫や考え方の整理ができているかを評価することが大切です。

(7) タイムテーブル

時間	内容
9:30～ 9:45 (15 分)	あいさつ・本日の進め方
9:45～10:40 (55 分)	再編シミュレーションゲーム実施
9:45～ 9:50 (5 分)	・役割分担を決める
9:50～10:20 (30 分)	・コスト削減検討
10:20～10:30 (10 分)	・売却検討（不動産登場）
10:30～10:35 (5 分)	・利用料金改定検討
10:35～10:40 (5 分)	・サービス向上検討（市長登場）
10:40～10:50 (10 分)	各グループで発表資料まとめ
10:50～11:35 (45 分)	発表（6 グループ×5 分）と質疑（6 グループ×2 分）
11:35～11:45 (10 分)	各発表に対する評価（投票と最優秀案の決定）
11:45～11:55 (10 分)	講評
11:55～12:00 (5 分)	市民ワークショップに参加した感想

(8)対象施設の紹介

① 大船行政センター

施設名称	大船行政センター	施設写真
所在地	大船 2-1-26	  
建設年度	昭和 40 年度	
敷地面積	1,988 m ²	
建築面積	608 m ²	
延床面積	1,723 m ²	
管理運営形態	直営	
運営時間	・支所：8:30～17:15 ・生涯学習センターの利用区分 午前：9:00～12:00 午後：13:00～17:00 夜間：18:00～22:00 ・図書館：9:00～17:00 (休日を除く木・金は 9:00～19:00)	
利用状況	平成 22 年度実績 ・支所窓口の利用件数：117,071 件（総数） ・学習センターの利用件数：3,439 件（総数） ・図書館の貸出点数：331,756 点（総数） 貸出利用者数：105,056 人（総数）	
居室構成	支所(550 m ²)、集会室(4 室、計 258 m ²)、図書室(587 m ²)など	
備考	支所、学習センター、図書館が併設した複合施設で、市内に 4 施設（腰越、深沢、大船、玉縄）あります。	

② 玉縄行政センター

施設名称	玉縄行政センター	施設写真
所在地	岡本 2-16-3	  
建設年度	昭和 62 年度	
敷地面積	3,632 m ²	
建築面積	967 m ²	
延床面積	2,350 m ²	
管理運営形態	直営	
運営時間	・支所：8:30～17:15 ・生涯学習センターの利用区分 午前：9:00～12:00 午後：13:00～17:00 夜間：18:00～22:00 ・図書館：9:00～17:00 (休日を除く木・金は 9:00～19:00)	
利用状況	平成 22 年度実績 ・支所窓口の利用件数：39,745 件（総数） ・学習センターの利用件数：3,577 件（総数） ・図書館の貸出点数：220,140 点（総数） 貸出利用者数：66,488 人（総数）	
居室構成	支所(1,048 m ²)、集会室(4 室、計 319 m ²)、料理実習室(84 m ²)、図書室(512 m ²)など	
備考	支所、学習センター、図書館が併設した複合施設で、市内に 4 施設（腰越、深沢、大船、玉縄）あります。	

③ 大船小学校

施設名称(分類)	大船小学校（学校教育施設）	施設写真
所在地	大船 2－8－1	
建設年度	昭和 52 年度※代表建物の建設年度	
敷地面積	12,718 m ²	
延床面積	6,458 m ²	
管理運営形態	直営	
利用状況	平成 22 年度実績 児童数：401 人（学級数：12 学級）	
居室構成	普通教室、特別教室、管理諸室、体育館、プール、給食室など	
備考	市立小学校は 16 校あります。校庭、体育館及びプールは、学校の休業日のうち、学校が使用しないときに開放しています。	

④ 玉縄小学校

施設名称(分類)	玉縄小学校（学校教育施設）	施設写真
所在地	玉縄 1－8 6 0	
建設年度	昭和 40 年度※代表建物の建設年度	
敷地面積	14,484 m ²	
延床面積	7,173 m ²	
管理運営形態	直営	
利用状況	平成 22 年度実績 児童数：612 人（学級数：22 学級）	
居室構成	普通教室、特別教室、管理諸室、体育館、給食室など ※プールは玉縄中学校と共用	
備考	市立小学校は 16 校あります。校庭及び体育館は、学校の休業日のうち、学校が使用しないときに開放しています。	

⑤ 植木小学校

施設名称(分類)	植木小学校（学校教育施設）	施設写真
所在地	植木 1	
建設年度	昭和 59 年度※代表建物の建設年度	
敷地面積	20, 102 m ²	
延床面積	5, 582 m ²	
管理運営形態	直営	
利用状況	平成 22 年度実績 児童数：383 人（学級数：12 学級）	
居室構成	普通教室、特別教室、管理諸室、体育館、給食室など	
備考	市立小学校は 16 校あります。校庭及び体育館は、学校の休業日のうち、学校が使用しないときに開放しています。	

⑥ 大船中学校

施設名称(分類)	大船中学校（学校教育施設）	施設写真
所在地	大船 4－1－2 5	
建設年度	昭和 32 年度（建替中：平成 27 年度竣工予定） ※代表建物の建設年度	
敷地面積	31,476 m ²	
延床面積	7,036 m ²	
管理運営形態	直営	
利用状況	平成 22 年度実績 生徒数：461 人（学級数：14 学級）	
居室構成	普通教室、特別教室、管理諸室、体育館、プールなど	
備考	市立中学校は 9 校あります。校庭及び体育館は、学校の休業日のうち、学校が使用しないときに開放しています。	

⑦ 玉縄中学校

施設名称(分類)	玉縄中学校（学校教育施設）	施設写真
所在地	岡本 1 1 0 0	
建設年度	昭和 48 年度 ※代表建物の建設年度	
敷地面積	21,332 m ²	
延床面積	7,600 m ²	
管理運営形態	直営	
利用状況	平成 22 年度実績 生徒数：586 人（学級数：20 学級）	
居室構成	普通教室、特別教室、管理諸室、体育館など ※プールは玉縄小学校と共用	
備考	市立中学校は 9 校あります。校庭は、学校の休業日のうち、学校が使用しないときに開放しています。	

⑧ 大船保育園

施設名称(分類)	大船保育園（子育て支援施設）	施設写真
所在地	大船 2－10－24	
建設年度	平成 8 年度	
敷地面積	997 m ²	
建築面積	485 m ²	
延床面積	692 m ²	
管理運営形態	直営	
運営時間	7:00～19:00(土曜日は 18:00 まで)	
利用状況	平成 22 年度実績 利用者数：82 人（定員：80 人）	
居室構成	乳児室（27 m ² ）、保育室（182 m ² ）、 沐浴室（19 m ² ）、調理室（31 m ² ）、 事務室（26 m ² ）など	
備考	市内には、市立保育園が 7 施設、私立保育園が 11 施設あります。なお、保育園以外の保育施設としては、認定こども園が 3 施設（1 施設は平成 23 年度開所）、認定保育施設が 3 施設（1 施設は平成 23 年度認可化）、届出保育施設が 2 施設（1 施設は平成 23 年度認定化）の合計 8 施設あります。	

⑨ 岡本保育園

施設名称(分類)	岡本保育園（子育て支援施設）	施設写真
所在地	岡本 2－2 1－1 9	
建設年度	昭和 55 年度（平成 27 年度に建替予定）	
敷地面積	1,754 m ²	
建築面積	490 m ²	
延床面積	637 m ²	
管理運営形態	直営	
運営時間	7:00～19:00(土曜日は 18:00 まで)	
利用状況	平成 22 年度実績 利用者数：103 人（定員：90 人）	
居室構成	乳児室（30 m ² ）、保育室（217 m ² ）、 遊戯室（110 m ² ）、沐浴室（19 m ² ）、 調理室（31 m ² ）、事務室（26 m ² ）など	
備考	市内には、市立保育園が 7 施設、私立保育園が 11 施設あります。なお、保育園以外の保育施設としては、認定こども園が 3 施設（1 施設は平成 23 年度開所）、認定保育施設が 3 施設（1 施設は平成 23 年度認可化）、届出保育施設が 2 施設（1 施設は平成 23 年度認定化）の合計 8 施設あります。	

⑩ 玉縄青少年会館

施設名称(分類)	玉縄青少年会館（子育て支援施設）	施設写真
所在地	玉縄 1 - 2 - 1	
建設年度	昭和 45 年度	 
敷地面積	934 m ²	
建築面積	934 m ²	
延床面積	1,426 m ²	
管理運営形態	直営	
運営時間	9:00～21:30（日曜・祝日は 17:00 まで）	
利用状況	平成 23 年度実績 利用者数：33,804 人（総数）	
居室構成	研修・集会・会議室（318 m ² ）、和室（64 m ² ）、音楽室（40 m ² ）、美術室（40 m ² ）など	
備考	青少年会館は、青少年に交流と活動の場を提供し、青少年の健全な育成を図ることを目的として設置されており、未就学児とその保護者から中高生や若者までを対象に、嘱託職員や外部講師による様々な講座が開催されています。市内には、玉縄青少年会館以外に鎌倉青少年会館があります。なお、玉縄青少年会館には、玉縄子ども会館・たまなわ子どもの家が併設しています。	

⑪ 大船子ども会館・おおふな子どもの家

施設名称(分類)	大船子ども会館・おおふな子どもの家 (子育て支援施設)	施設写真
所在地	大船 2 - 1 0 - 3	
建設年度	平成 2 年度	
敷地面積	876 m ²	
建築面積	283 m ²	
延床面積	277 m ²	
管理運営形態	直営	
運営時間	子ども会館：10:00～17:00 子どもの家：8:15～18:00(19:00 まで延長可) (土曜 8:30～17:30)	
利用状況	平成 23 年度実績 子ども会館利用者数：10, 120 人 (総数) 子どもの家利用者数：10, 505 人 (総数)	
居室構成	児童活動スペース	
備考	子ども会館は、心身の健やかな育成を図ることを目的とし、地域の 0 歳児から中学生までに適切な遊びの場を提供しています。こどもの家は保護者の仕事や疾病などの事情によって、学校から帰宅して世話をする人がいない子どもに対して、家庭的な生活ができるような場所を提供しています。 子ども会館・子どもの家は、概ね小学校区に 1 施設配置されており、市内には 18 施設が設置されています。	

⑫ 玉縄すこやかセンター

施設名称(分類)	玉縄すこやかセンター（福祉施設）	施設写真
所在地	玉縄 5 - 9 - 1	 
建設年度	昭和 58 年度	
敷地面積	2,520 m ²	
建築面積	462 m ²	
延床面積	494 m ²	
管理運営形態	指定管理者	
運営時間	9:00～16:00	
利用状況	平成 23 年度実績 利用者数：27,429 人（総数）	
居室構成	大広間（81 m ² ）、集会・娯楽室（73 m ² ）、機能訓練回復室（16 m ² ）、浴室（27 m ² ）など	
備考	高齢者（60 歳以上）を対象とした健康増進、教養の向上及びレクリエーションを営むための施設（入浴・集会・娯楽）です。同様の施設は市内に 5 施設（今泉さわやかセンター、名越やすらぎセンター、教養センター、老人いこいの家「こゆるぎ荘」）あります。 なお、市内の高齢者福祉サービスには、市営の福祉施設のほか民営のデイサービスを提供する通所施設や介護老人ホーム等の入所施設が多数あります。	

⑬ 鎌倉芸術館

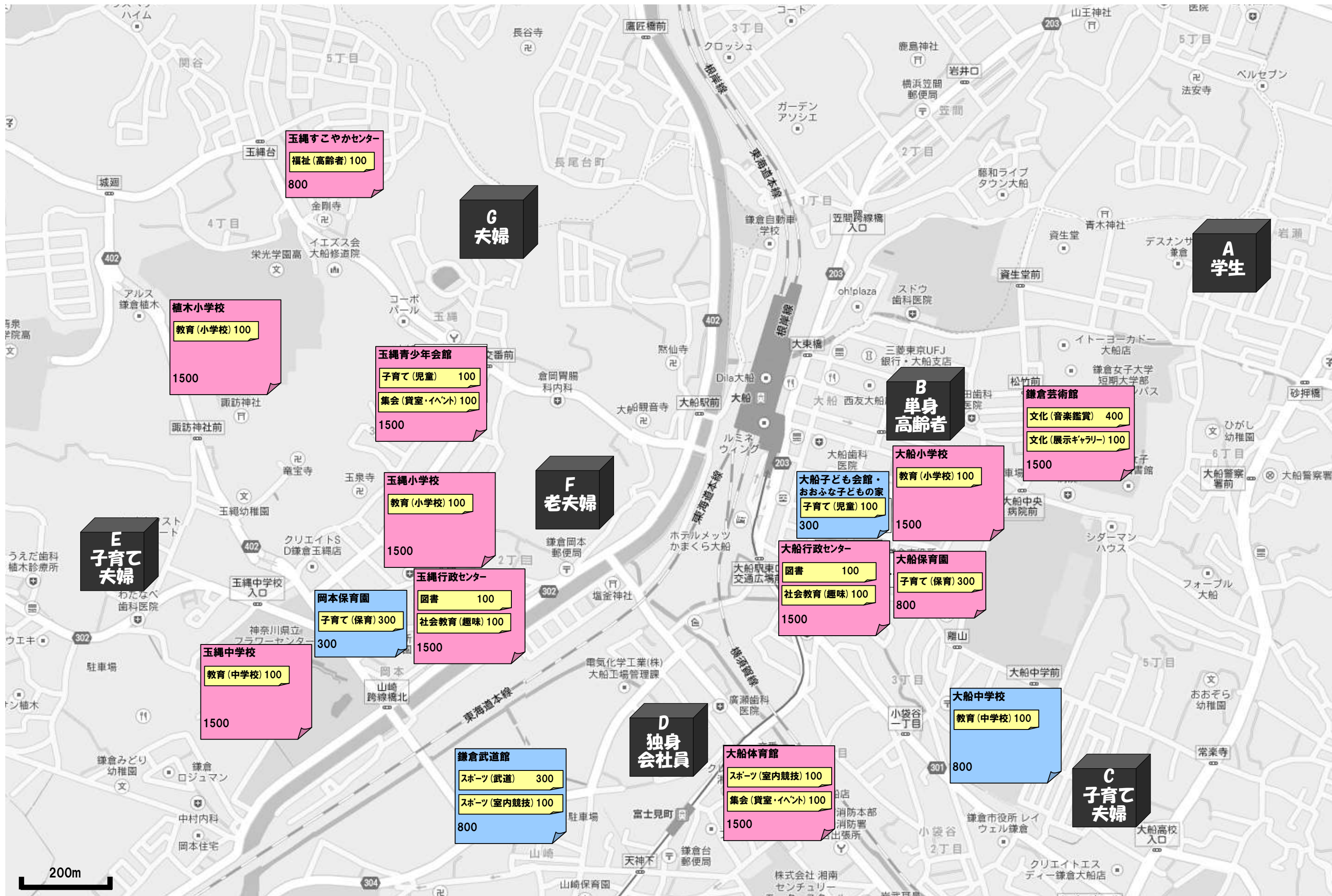
施設名称(分類)	鎌倉芸術館（文化施設）	施設写真
所在地	大船 6 - 1 - 2	 
建設年度	平成 5 年度	
敷地面積	11,536 m ²	
建築面積	6,920 m ²	
延床面積	21,510 m ²	
管理運営形態	指定管理者	
運営時間	9:00～22:00	
利用状況	平成 23 年度実績 利用件数：5,846 件（総数） 利用者数：517,507 人（総数）	
居室構成	1,500 席の大ホール、600 席の小ホール（舞台はユニット式可変床）、ギャラリー（202.8 m ² 、125.6 m ² 、72 m ² ）、練習室（51 m ² 、26 m ² ）・リハーサル室（156 m ² ）、スタジオ（25 m ² ）、集会室（203 m ² ）、会議室（91 m ² 、53 m ² ）、和室（20 畳）など	
備考	本格的なホールを持つ文化施設です。ホールのほか、ギャラリーやスタジオ、会議室などが利用でき、さまざまなジャンルの主催事業も開催されています。広域的な施設ですが、近隣市民（鎌倉市外）の利用が半数以上を占めています。近隣の横浜市や藤沢市にも同様の施設があります。	

⑭ 鎌倉武道館

施設名称(分類)	鎌倉武道館（スポーツ施設）	施設写真
所在地	山崎 6 1 6 - 6	 
建設年度	平成 5 年度	
敷地面積	22,693 m ² （下水処理場との複合施設）	
建築面積	5,721 m ² （下水処理場との複合施設）	
延床面積	10,267 m ² （鎌倉武道館部分 5,217 m ² ）	
管理運営形態	指定管理者	
運営時間	9:00～21:00	
利用状況	平成 23 年度実績 利用者数：195,144 人（総数）	
居室構成	剣道場（917 m ² ）、柔道場（750 m ² ）、 弓道場（210 m ² ）など	
備考	室内スポーツ全般と柔道、剣道、弓道ができ、鎌倉市全域の市民が利用できる広域的な施設です。市内の体育館には、他に、鎌倉体育館、大船体育館、見田記念体育館（体操・ダンス・太極拳等にのみ対応）があります。	

⑮ 大船体育館

施設名称(分類)	大船体育館（スポーツ施設）	施設写真
所在地	台 3－2－5	 
建設年度	昭和 58 年度	
敷地面積	2,014 m ²	
建築面積	1,348 m ²	
延床面積	1,573 m ²	
管理運営形態	指定管理者	
運営時間	9:00～21:00	
利用状況	平成 23 年度実績 利用者数：64,269 人（総数）	
居室構成	競技場（682 m ² ）、格技室（157 m ² ）など	
備考	室内スポーツ全般と剣道ができ、鎌倉市全域の市民が利用できる広域的な施設です。市内の体育館には、他に、鎌倉体育館、鎌倉武道館、見田記念体育館（体操・ダンス・太極拳等にのみ対応）があります。	



※ カードの大きさと実際の建物の大きさは異なります。